

# 関西・中京方面に近い日本海側の新拠点 福井県

## 関西・中京の二大経済圏とのアクセスが抜群

福井の魅力は、関西・中京の二大経済圏への地の利が良いこと。2014年7月に開通した舞鶴若狭自動車道、現在整備が進められている中部縦貫自動車道により、福井県と関西・中京、関東・信越が最短ルートでつながる。

二大経済圏に近い日本海側の港湾として敦賀港の価値も高まる。現在、定期航路は韓国航路週4便、中国航路週1便が運航されている。

北陸新幹線は、2023年春に金沢～敦賀間が開業し、東京と結ばれる。敦賀から大阪までの区間についても、早期の全線開通を国に要請している。

日本海側の地震や津波の発生確率は太平洋側と比較して低いと評価するデータがあり、県は「BCP（事業継続計画）の観点から、地震・津波など自然災害の発生リスクが少ない福井県にぜひ国内拠点を」とアピールしている。

### ■福井県のデータ

面積：4,190km<sup>2</sup>  
 人口：764,152人（2020年6月1日現在・推計人口）  
 県庁所在地：〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号  
 TEL：0776-21-1111（代）  
 ホームページURL：http://www.pref.fukui.jp/

## UIターン促進を目的とした補助金を導入

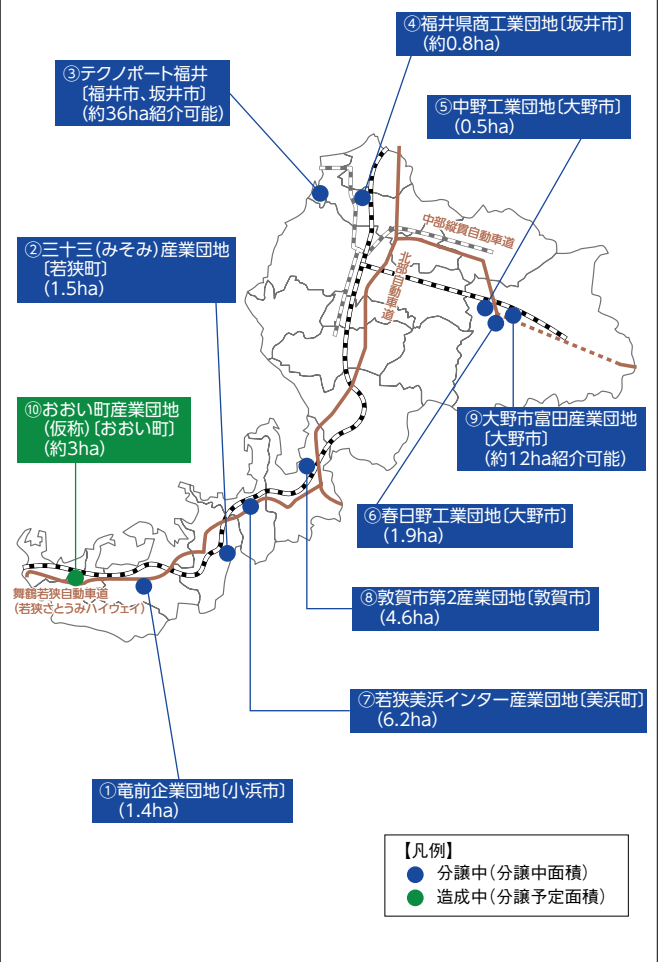
県では、設備投資に併せて、UIターン者を雇用したり、社宅を建設する企業に対する補助金を導入している。

土地の取得費、工場等の建設経費等を支援する「企業立地促進補助金」では、投資額の10%～25%を補助、総交付限度額は最大30億円と高水準の支援を行っている。

また、設備運送費や土地建物賃借料、従業員・家族転入旅費や家賃といった県外からの「引越し」費用を補助する「企業受入支援金」も企業に好評だ。

その他、電気料金を8年間にわたって最大で50%程度支援される国の電気料金助成制度（通称「F補助金」）もあり、ランニングコストの面でも魅力的な地域となっている。

## ●福井の主な産業用地



## ●福井県の主な優遇制度

### 県外企業(操業開始から10年以上)が工場等を新增設する場合

⇒企業立地促進補助金  
 (1)施設整備費補助、(2)事業活動費補助

### 県外から工場等を移転する場合

⇒企業受入支援金

### 県内企業(操業開始から10年経過)が工場等を新增設する場合

⇒県内成長企業生産拠点拡大促進補助金  
 (1)新規参入促進補助金、(2)設備投資促進補助金  
 ※2021年度末までに工事着工する必要がある

### 「本社機能の新設・拡充」に関する支援制度

⇒企業立地促進補助金、企業受入支援金

### 電気料金に対する支援制度

⇒「F補助金」  
 (注)各制度の詳細は福井県企業誘致課(裏表紙掲載)まで、お問い合わせください

## 新たな産業団地

### －「若狭美浜インター産業団地」「おおい町産業団地（仮称）」「三十三産業団地」「敦賀市第2産業団地」－

県内では現在、嶺南地域の4か所で新産業団地の分譲、整備が進行中だ。

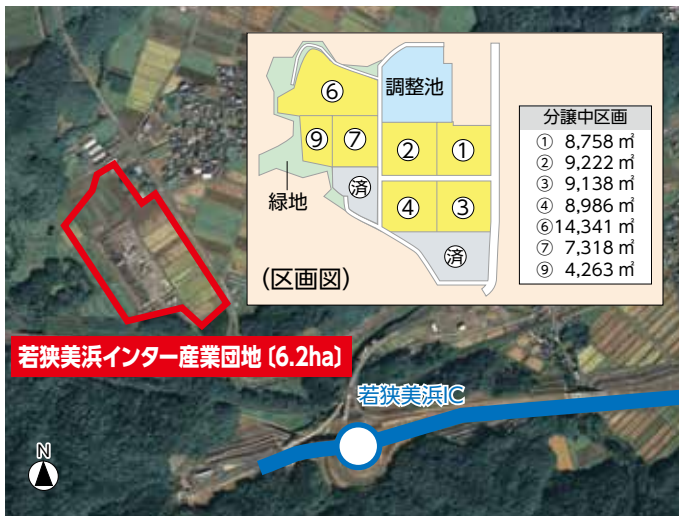
「若狭美浜インター産業団地」は関西・中京・北陸各地へのアクセスに優れた美浜町に整備。舞鶴若狭自動車道の若狭美浜ICから500m（1分）の距離にあり、敦賀港へも約15kmと近く、交通面で県内トップクラスの産業団地だ。

県南西部、おおい町で整備中の「おおい町産業団地（仮称）」は、舞鶴若狭自動車道の大飯高浜ICのすぐそばで、

大阪・神戸へ90分圏内、名古屋へも120分圏内だ。町立地助成金や電気料金割引などの支援も充実している。

若狭町の「三十三（みそみ）産業団地」は京阪神、東海地域から2～3時間でアクセスが可能な立地条件に優れた団地で、周辺には、美しい海岸線を誇る若狭湾国定公園があり、自然環境にも恵まれている。

「敦賀市第2産業団地」は、敦賀港まで2km、北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道の敦賀ICまで約4kmと立地条件がよく、製造業、物流関連企業に最適な用地だ。



## 臨海部の大型産業団地 －「テクノポート福井」－

嶺北地域の県営団地「テクノポート福井」（福井市・坂井市）は、福井港を擁する日本海側最大級の産業団地で、総面積1247.2ha、産業用地面積766.2ha。工業用水の供給設備や排水浄化センターを完備し、化学系企業も立地しやすい。また、緑地帯により住宅地から分離された環境で操業が可能。騒音や排水に悩む企業の移転にも適している。現在、県所有地6haに、2020年度に一部分譲を開始する30haを加えて合計約36haの用地が紹介可能。

